

第55期年次報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
Tel. 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
ホームページ: <http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html>
電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。
※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET (金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部

インターネットホームページ <http://www.soft99.co.jp>

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。

「新しいこと」へのチャレンジを通じて、「おもろい」製品・サービスを創造し続けます。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、平成20年4月より、新しい中期経営計画「Spiral Up“NEXT”」をスタートし、グループ内各事業の特色や技術を活かし、“新しいこと”へのチャレンジを通じて付加価値の創出に向けて取り組んでまいりました。しかしながら秋口の金融危機に端を発する円高の進行や、製造業の在庫調整による稼働低迷と雇用環境の悪化の影響を受けた個人消費の低迷など企業を取り巻く経営環境は非常に厳しいものでした。

当社グループにおきましても自動車美装業者向けのコーティング剤の販売が自動車販売台数の低迷により落ち込んだり、半導体製造装置で使用されるスポンジローラーや研磨砥石の販売が半導体業界の在庫調整の影響で大幅に落ち込むなどの影響が出ており、あわせて競合店の相次ぐ出店により業績が低迷しておりました温浴施設における大幅な減損損失や株式市場の低迷による投資有価証券の評価損の計上により、純損失の計上となるなど非常に残念な結果となりました。

次期におきましては、景気の先行きは不透明ではありますが、自動車の保有年数が伸びて、洗車やワックス掛けなどクルマを大切にする風潮が高まるなど当社グループの事業にプラスとなる傾向も一部で現れてきており、中期経営計画でかかげた“新しいこと”へのチャレンジを通じて「おもろい」商品・サービスの提供を前向きに続けることで、企業価値の向上に努めていく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成21年6月

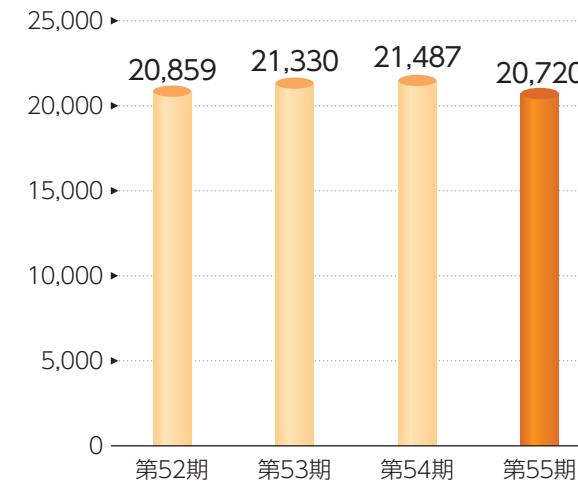


代表取締役社長兼会長

田中 明三

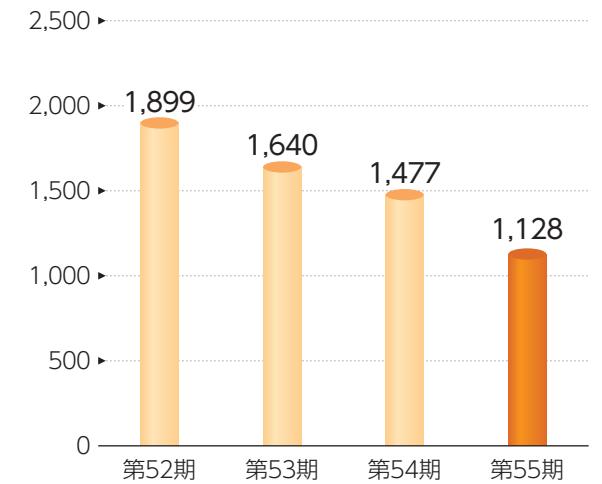
売上高

(単位：百万円)



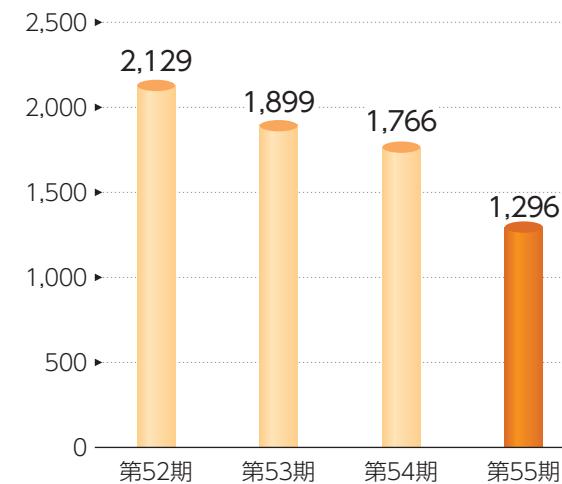
営業利益

(単位：百万円)



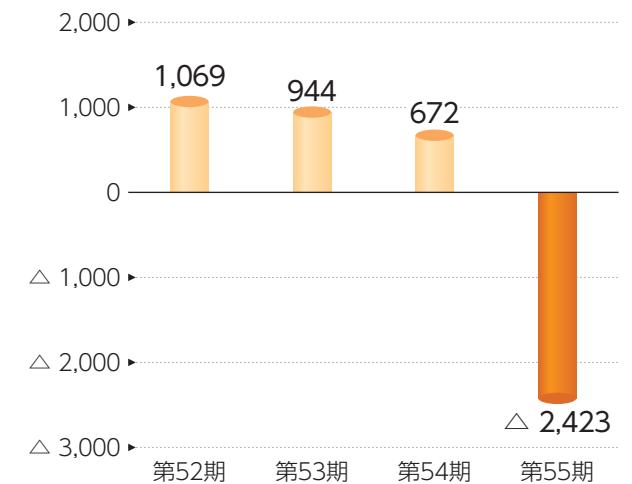
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



株式会社くらし企画 くらしを豊かにする生活雑貨総合商社

株式会社くらし企画は、主として生活協同組合の家庭用品・雑貨の折り込みチラシを媒体として、健康・美容・知育玩具・ベビー雑貨・インナー衣料、ホームケア用品の企画提案及びこれらの商品の卸販売を行っている会社です。

人々のライフスタイルが多様化する中、「便利で快適な生活を送りたい」「より良いものを納得できる価格で」という消費者の意識は高まってきております。株式会社くらし企画では、消費者の多様なニーズに応えるため、常に新鮮で独創的な商品の発掘・開発に努めております。

生活雑貨においては、「あったらいいな」と思う商品や、高機能商品、日々の生活に快適さを与える商品など、常に顧客満足度を高める商品提案を行っております。また、年齢を問わず消費者の健康に対する関心が高まる中、健康や美容をテーマにした商品や、大人と子供が一緒に学びながら遊べる知育玩具の開発など、独自の視点による商品企画を行っています。

地球環境への配慮も大切にしており、省エネにつながる商品や、使い捨てにしない商品など、毎日の生活で続けられる「エコ」を意識した商品の開発もすすめています。

平成21年に創業35周年を迎えたことを機に、社名を株式会社ニシモトから「株式会社くらし企画」へ変更しました。「温故知新」を企業理念とし、昔からある良いモノの本質を学び、発想を得ることで、時代に応じた「新しさ」「安全」「安心」に「環境」というキーワードをプラスした商品をお届けし、より確かで豊かなライフスタイルをユーザーへ提案してまいります。

今後も生活協同組合との太いパイプを活かしながら営業活動を進めるとともに、「カタログ媒体」「ネット販売」などの新規営業媒体の開発なども視野に入れた事業拡大を図ってまいります。



会社概要



株式会社くらし企画

社名 株式会社くらし企画
 住所 〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目7番7号 ソフト99ビル7階
 設立 昭和51年10月
 資本金 5,000万円
 代表者 代表取締役社長 木須 孝一
 従業員数 20名
 事業内容 家庭用品雑貨企画販売

株式会社パナックス ヒット商品の開発をトータルサポート

株式会社パナックスは、主に株式会社ソフト99コーポレーションの製品に使用されるプラスチック容器の企画販売を行っております。カーワックスの樹脂キャップやガラコシリーズの容器など、ソフト99製品が生み出す、他社製品とはひと味違う「おもろい」を支えています。

商品企画の立案時点から株式会社ソフト99コーポレーションの商品開発チームと一体となり、容器の意匠面や機構・構造面の企画提案と知的財産権の調査、製品化に向けた設計・試作を行っております。

また、ユーザーの嗜好の変化や各種法令の改正に対応した製品の改良など、常に市場環境の変化を意識した商品開発を行っております。

今後は、株式会社ソフト99コーポレーション向け以外にも販路の拡大を図るとともに、商品コンセプト・コスト・納期など、顧客のあらゆる要求にマッチした機能的で魅力的な外観をデザインし、設計から生産まで、一般的なサポートを行いながら高機能・高付加価値商品を生み出してまいります。



会社概要



社名 株式会社パナックス
 住所 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町2丁目1番7号
 設立 昭和62年8月
 資本金 1,000万円
 代表者 代表取締役 片上 忠男
 従業員数 3名
 事業内容 プラスチック容器の企画販売 商品開発に関する調査及び開発業務

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国発の世界的な金融危機や株安・急激な円高の進行による影響が实体经济に波及し、企業収益の減少や雇用情勢の悪化により個人消費が落ち込むなど、景気の減速感は一層鮮明になってまいりました。

このような経済状況の下で、当社グループ（当社及び連結子会社7社）は、各事業の特色や技術を活かしながら新しいことへチャレンジし、お客様に製品・サービスにおいて新しい付加価値を提供する「クルマと暮らしの輝きを創造する企業グループ」を目指して営業活動に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高20,720百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益1,128百万円（同23.6%減）、経常利益1,296百万円（同26.6%減）となり、9月末以降の株式市場の低迷による投資有価証券の評価損と、損失を計上した子会社における固定資産の減損損失等を特別損失として計上したこともあり、当期純損失は2,423百万円（前年同期は当期純利益672百万円）となりました。

クルマ

自動車用品業界におきましては、自動車販売の低迷や景気後退による個人消費の落ち込みなど、自動車を取り巻く環境や消費者向け消耗品市場は一層厳しい事業環境となりました。このような中、製品販売においてカーケア用品販売は、年度前半は新製品販売が苦戦するなど売上が伸び悩みましたが、後半は「フクピカ」、「フッ素コート」などのボディお手入れ製品や、「ガラコ」に代表されるガラスお手入れ製品と、一昨年発売した「ガラコワイパーパワー撥水」が市場で高い評価を得て販売が順調に推移しました。また、補修関連製品「99工房」の取扱い販売店も増加し、販売も拡大しました。しかしながら暖冬の影響でタイヤチェーンの販売が低迷し、年度末に前年を大幅に上回る返品が発生したこともあり、カーケア用品販売は減収となりました。

そして、業務用製品の販売については、年度前半はブランド認知が浸透したことで取扱店が増加し、関連商品も含み販売が好調に推移しましたが、後半は新車販売減少の影響を受け販売が苦戦し、前半の増収ペースを打ち消す形となり、通期では前年並みとなりました。

また、海外向け販売は急激な円高の影響を受け輸出が減少し、大幅な減収となりました。

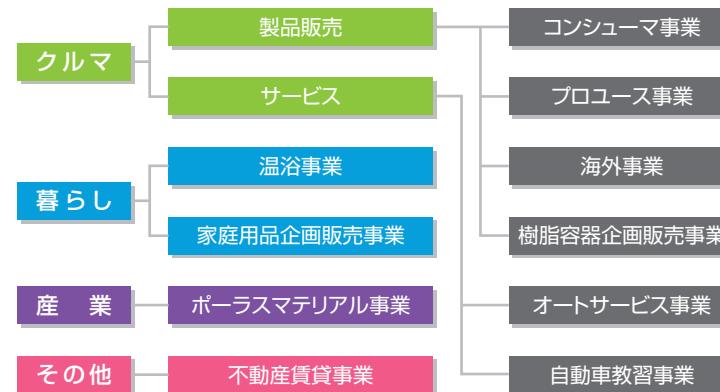
一方、家庭用品の分野では、「メガネのシャンプー」がTVCMの放映に伴い市場における認知が高まったことで大幅な増収となりました。

これらの結果、製品販売事業においてはカーケア用品の販売と海外向け販売の落ち込みを、家庭用製品等の販売の増加で補えずに減収となり、原材料価格高騰の影響と工場稼働率の低下による原価率の上昇により減益となりました。

自動車関連サービスにおきましては、年度前半は自動車整備や钣金部門において得意先の開拓や損害保険会社からの入庫が順調に推移しましたが、後半は自動車の乗り控えによる事故の減少や、景気後退による法人顧客のリース車両の減車の影響により売上が伸び悩み減収となりましたが、費用の削減や工場の効率化が進んだことで増益となりました。

自動車教習事業におきましては、少子化や近隣校の価格攻勢等を要因に普通免許受講者の入所者が伸び悩み、職業免許等の入所者獲得でカバーできず減収となり、稼働率の低下による原価率上昇により損失が発生しました。

これらの結果、当連結会計年度におけるクルマ事業部門の売上高は11,986百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は353百万円（同31.6%減）と減収減益となりました。



セグメント別売上高（連結） (単位: 百万円)

業種	事業内容等	当期	構成比	前年同期比
クルマ	・コンシューマ事業 ・プロユース事業 ・海外事業 ・樹脂容器企画販売事業 ・オートサービス事業 ・自動車教習事業	11,986	57.8%	2.8%減
暮らし	・温浴事業 ・家庭用品企画販売事業	3,678	17.8%	1.7%減
産業	・ポーラスマテリアル事業	4,794	23.1%	7.0%減
その他	・不動産賃貸事業	260	1.3%	2.5%増

暮らし



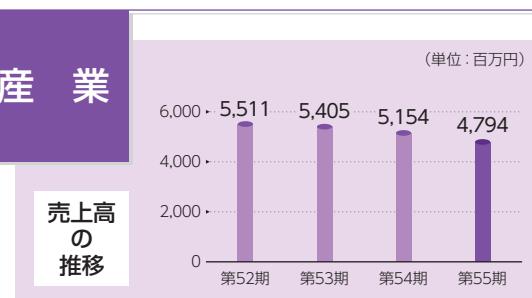
売上高の推移

スーパー銭湯を運営する温浴事業におきましては、スーパー銭湯ブームが沈静化する中、近隣の競合店の出店や、改装による一部店舗の休業の影響等で、来客数が減少したことにより売上が減少し、損失が発生しました。

一方、生協向けの家庭用品企画販売事業においては、仕入先統合や景気後退による個人消費の冷え込み等、厳しい市場環境下において独自商品の発掘と提案力強化に取り組み、企画の採用率が好転したことで増収となり、前期末でのれんの償却が終了したことにより増益となりました。

これらの結果、当連結会計年度における暮らし事業部門の売上高は3,678百万円（前年同期比1.7%減）、営業損失は11百万円（前年同期は営業損失6百万円）と減収減益となりました。

産業



売上高の推移

産業資材部門におきましては、年度前半にブラシローラーや吸水ローラー及びハードディスク向け砥石の販売が、国内・海外の半導体生産の活況を受け順調に推移しましたが、後半は半導体業界において国内外の需要環境の急速な悪化が進んだことにより販売が苦戦し大幅な減収となりました。一方、生活資材部門においては海外向け販売が好調であったものの、国内向け販売が苦戦したことでは前年並みの結果となりました。

これらの結果、当連結会計年度における産業事業部門の売上高は4,794百万円（前年同期比7.0%減）、販売の苦戦による工場の稼働率の低下を主要因として原価率が上昇し、営業利益は612百万円（同25.9%減）と大幅な減収減益となりました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

科目	当期 (21.3.31 現在)	前期 (20.3.31 現在)
◆ 資産の部 ◆		
流動資産	12,665	12,697
現金及び預金	6,728	6,670
受取手形及び売掛金	2,680	3,262
有価証券	567	300
たな卸資産	2,040	1,910
その他	649	553
固定資産	27,727	31,313
有形固定資産	21,700	24,245
建物及び構築物	4,926	6,510
土地	14,459	15,821
その他	2,313	1,913
無形固定資産	164	251
のれん	16	36
その他	147	215
投資その他の資産	5,862	6,816
投資有価証券	4,332	4,984
その他	1,529	1,831
資産合計	40,393	44,011

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	当期 (21.3.31 現在)	前期 (20.3.31 現在)
◆ 負債の部 ◆		
流動負債	2,440	2,787
支払手形及び買掛金	930	1,038
未払金及び未払費用	836	995
その他	673	753
固定負債	1,649	2,115
退職給付引当金	867	801
その他	781	1,314
負債合計	4,089	4,902
◆ 純資産の部 ◆		
株主資本	36,549	39,455
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	31,452	34,246
自己株式	△ 329	△ 217
評価・換算差額等	△ 445	△ 558
その他有価証券評価差額金	△ 270	△ 419
土地再評価差額金	△ 207	△ 207
為替換算調整勘定	32	67
少数株主持分	199	211
純資産合計	36,303	39,108
負債・純資産合計	40,393	44,011

連結損益計算書

科目	当期 (20.4.1 から 21.3.31 まで)	前期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
売上高	20,720	21,487
売上原価	13,872	14,111
売上総利益	6,847	7,376
販売費及び一般管理費	5,718	5,898
営業利益	1,128	1,477
営業外収益	224	311
営業外費用	56	22
経常利益	1,296	1,766
特別利益	6	20
特別損失	3,591	144
税金等調整前当期純利益	△ 2,288	1,642
法人税、住民税及び事業税	429	777
法人税等調整額	△ 307	159
少数株主利益（控除）	12	33
当期純利益	△ 2,423	672

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (20.4.1 から 21.3.31 まで)	前期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,811	2,292
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,275	△ 990
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 499	△ 459
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 9	1
現金及び現金同等物の 増加額（又は減少額）	27	845
現金及び現金同等物の 期首残高	6,545	5,699
現金及び現金同等物の 期末残高	6,572	6,545

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当期(20.4.1から21.3.31まで)

(単位：百万円)

科目	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	2,310	3,116	34,246	△ 217	39,455	△ 419	△ 207	67	△ 558	211	39,108
連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 371		△ 371						△ 371
当期純利益			△ 2,423		△ 2,423						△ 2,423
自己株式の取得				△ 112	△ 112						△ 112
株主資本以外の変動額合計						149	—	△ 35	113	△ 11	102
連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 2,794	△ 112	△ 2,906	149	—	△ 35	113	△ 11	△ 2,804
平成21年3月31日残高	2,310	3,116	31,452	△ 329	36,549	△ 270	△ 207	32	△ 445	199	36,303

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 (21.3.31 現在)	前期 (20.3.31 現在)
◆ 資産の部 ◆		
流動資産	9,209	8,907
現金及び預金	6,022	5,858
受取手形	333	311
売掛金	889	1,075
有価証券	567	300
たな卸資産	1,183	1,184
その他	213	177
固定資産	27,135	29,822
有形固定資産	15,540	15,597
建物	4,252	4,323
土地	10,630	10,589
その他	657	685
無形固定資産	68	78
投資その他の資産	11,526	14,145
投資有価証券	4,332	4,983
関係会社株式	2,283	3,590
関係会社長期貸付金	4,235	3,953
その他	675	1,618
資産合計	36,344	38,729

科目	当期 (21.3.31 現在)	前期 (20.3.31 現在)
◆ 負債の部 ◆		
流動負債	815	1,100
買掛金	387	322
未払金	185	201
その他	243	575
固定負債	813	816
退職給付引当金	212	169
その他	601	647
負債合計	1,629	1,916
◆ 純資産の部 ◆		
株主資本	35,193	37,439
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	30,096	32,230
自己株式	△ 329	△ 217
評価・換算差額等	△ 477	△ 626
その他有価証券評価差額金	△ 270	△ 419
土地再評価差額金	△ 207	△ 207
純資産合計	34,715	36,813
負債・純資産合計	36,344	38,729

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位: 百万円)

科目	当期 (20.4.1 から 21.3.31 まで)	前期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
売上高	9,618	9,896
売上原価	5,214	5,357
売上総利益	4,403	4,539
販売費及び一般管理費	3,801	3,764
営業利益	602	774
営業外収益	353	399
営業外費用	47	10
経常利益	908	1,163
特別利益	6	12
特別損失	2,379	95
税引前当期純利益	△ 1,464	1,080
法人税、住民税及び事業税	164	451
法人税等調整額	134	146
当期純利益	△ 1,762	481

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 当期(20.4.1から21.3.31まで) (単位: 百万円)

科目	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	評価・換算差額等	純資産合計
平成20年3月31日残高	2,310	3,116	32,230	△ 217	△ 626	36,813
事業年度中の変動額						
剰余金の配当			△ 371			△ 371
当期純利益			△ 1,762			△ 1,762
自己株式の取得				△ 112		△ 112
株主資本以外の変動額合計					149	149
事業年度中の変動額合計	-	-	△ 2,133	△ 112	149	△ 2,097
平成21年3月31日残高	2,310	3,116	30,096	△ 329	△ 477	34,715

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 & 会社の概要

Stock Information & Corporate Profile

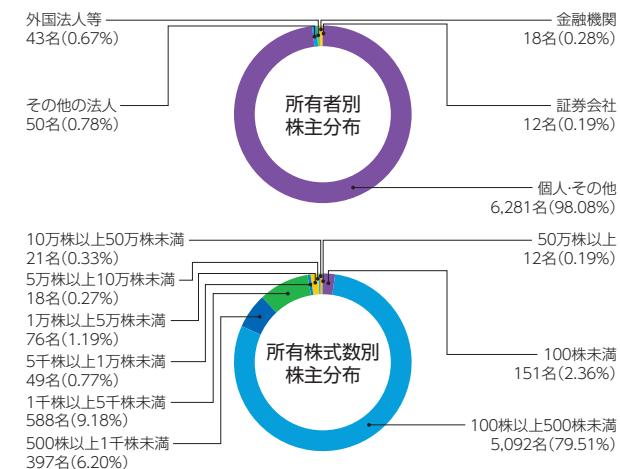
株式の状況 (平成21年3月31日現在)

株式の総数	
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	22,274,688株

株主数	
当期末株主数	6,404名

大株主	持株数	議決権比率
サントレード株式会社	3,354,528株	15.5%
田中 秀明	1,496,976	6.9
鈴木 幹子	1,492,656	6.9
立花証券株式会社	927,200	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	899,200	4.2
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	838,300	3.9
株式会社みずほ銀行	709,600	3.3
田中 信	603,720	2.8
佐藤 佐世子	594,192	2.7
田中 明三	552,424	2.6

上記のほか自己株式が660,624株ございます。



会社の概要 (平成21年3月31日現在)

商号	株式会社ソフト99コーポレーション
設立	昭和29年10月28日
本社	大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資本金	2,310,056,000円
従業員数	190名
事業内容	自動車用化学製品の製造及び販売

役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長兼会長	田中 明三
専務取締役	土堤内 清嗣
取締役	平野 泰彦
取締役	辻平 春幸
取締役	西川 保
取締役	渡辺 泰
取締役	奥 埜 佳 秀
取締役	田中 秀明
取締役	田中 信
常勤監査役	赤星 学
監査役	平井 康博
監査役	柏岡 勲
監査役	岸田 靖雄